

栃尾地域委員まちづくり分科会 課題一覧（第1、2回の分科会で出された意見をまとめたもの）

課題一覧				
医療・福祉	雪	子育て・教育	地域コミュニティ・市民活動	産業・交通・交流
<p>(救急医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急医療体制の強化・ドクターヘリが常に降りられる場所を確保する。 救急隊のレベル向上。 救急病院まで遠い。 <p>(課題の共有)</p> <ul style="list-style-type: none"> 栃尾地域に必要なことを洗い出す作業が必要、区長会との話し合いをしたい。 福祉について各地区ごとに情報提供を密にする。 地域包括支援センターの職員と介護や福祉について話し合う場を設ける。 <p>(ガイドブック)</p> <ul style="list-style-type: none"> 栃尾に特化したガイドブックの作成。 暮らしに役立つわかりやすいガイドブックがほしい。 栃尾地域で使えるサービスや保健外の部分も全てわかる冊子があるとよい。 ガイドブックを配付する窓口を1カ所に集める。 ガイドブックは市が毎年送る。 <p>(相談場所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 困りごと何でも電話相談サービス。 身寄りがない一人暮らしの高齢者の墓や寺、残った家の問題などを解決してくれる場所があるといい。 <p>(サービス提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心部に出ることができないお年寄りが受けられるサービスを考える。 <p>(障がい者への見守りと支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がいを持つ子を見守ることが大切。 高齢者だけでなく、障がいを持っている人への支援（地域ぐるみの見守り等）。 	<p>(現状の把握)</p> <ul style="list-style-type: none"> 雪対策について、各区の状況を聞き取る。 流雪溝・排雪場所、困っている人がどれくらいいるのかなど基礎的データの把握が必要。 <p>(協力体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> 雪の問題は地区により大きな差があり近隣の区が話し合う環境づくりが必要。これからできる地域コミュニティを活用すべき。 区や班ごとの除雪に対する協力体制の構築 お年寄りなどの家の前を除雪する、区や班ごとの協力体制の構築。 除雪が不十分で介護サービス等を受けることができない。 <p>(除排雪のルールづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状の除雪体制を維持してほしい。 市がお金をかけて良い除雪をしてほしい。 1週間に1回などの排雪ルールを作る。 消雪パイプがない栃尾独自の除雪ルール。 <p>(除雪体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家の前に雪のかたまりを置いていかない除雪方法。 歩道除雪の充実（特に下校時）。 	<p>(子育て制度の周知)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各子育ての駅に常駐している「子育てコンシェルジュ」活用のための周知。 素晴らしい取り組みをみんなが知るための周知方法の検討。 いろんな制度等が変わったら、紙上だけでなく交流を図ったらどうか。 <p>(施設・制度の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> 栃尾に子育て相談ができる専門機関があるといい。 団体（スポ少など）や地域で子どもたちを見守る、育てる。 児童クラブのように親の手助けになる取り組みを増やす。 <p>(話し合いの場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てしやすい、若者が住んでみたくなる町には何が必要か考えたい。 <p>(学校の維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒数の減少による学校維持が心配。 <p>(学びの場)</p> <ul style="list-style-type: none"> 栃尾の産業や歴史・文化を学ぶところが無い。 	<p>(活動情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地区ごとに情報等を集めて検討する。 <p>(地域コミュニティ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務やリーダー的な役割をする人を栃尾地域外の人に担ってもらおう。 婦人会や老人クラブがリーダー不足で解散している。 お茶の間サロンの会員を増やす。 各地区ごとにお年寄りのよったかりの場があることが大切。 素晴らしい知識や技術をもっている人や団体に「名人・達人」の称号を授与し教室や講座の講師に。 普段話ができない少し離れた人も集まって話ができる場所を作る。 <p>(施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> 近くで安い公民館を充実して利用しやすく。風呂等レベルアップ。 <p>【新しい複合施設設置について】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンターの中に調理室がほしい。 住民の関心や愛着がわくようにする取り組み。 誰でもそこで1日過ごせる場となるように。 家族みんなで楽しめるイベント、発表の場として活用。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの分野のつながりがある内容を考えていく。 <p>(産業・観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> 織物のPR不足。アロハシャツを製作しPRしているが商売につながっていない。 織物やあぶらげ・食品も含め栃尾の情報の全てを一元的に発信する窓口を作る。 観光面で栃尾全体での横の連携体制が必要 いろいろなものに「とちお」をつけてブランド化。 あぶらげによる栃尾のPR。 トチオンガーセブンによる栃尾のPR。 テレビなどマスメディアを利用したPR。 関東などから子どもをキャンプ等に積極的に受け入れる働きかけ。 道の駅「田園プラザわかば」のような子どもからお年寄りまで1日過ごせる複合施設。 道の駅の老朽化対策。 上杉謙信公に関連する時代館。 <p>(観光客の導線)</p> <ul style="list-style-type: none"> 素晴らしい観光資源が多くあるが、どこに集中し、誘導するか定まっていない。 観光資源が点在していて、全てを回るには時間がかかる。 <p>(交通)</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店と病院を結ぶバスがあるといい。 交通の面で各地区でどんな事を考えているのか聞きたい。 コミュニティバスの検討。